

(様式第2号)

事業所名 グループホームゆうあい

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 4年 5月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 令和3年度は、コロナ感染症対策のために集合での運営推進会議は開催できておらず、紙面で各委員へ報告し意見を求めているが、委員からの意見はほとんどない。会議を開催することで、他の委員の話を聞くことで意見や提案も出やすくなると思われる。	リアルタイムでの運営推進会議が再開でき、意見交換ができる。	・オンラインでの参加が可能か確認し、参加可能な委員だけでも運営推進会議を開催する。 ・コロナの感染状況を確認しながら、対面での開催を検討する。又、感染状況に応じて対面とオンライン併用での開催も検討する。 ・オンラインの環境は整っていても使用方法が分からない委員がおられたら使用方法をレクチャーする。	6ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 本人、家族とは利用者のステージに応じて、その都度話し合いながら方針を決定し、当該施設で看取ることが増えている。しかし、経験年数が短いスタッフや看取りの経験が少ないスタッフもあり、ターミナルケアについてケア方法などを深めていく必要がある。	全スタッフが不安なくターミナルケアができる。	・看取りケアの勉強会の開催。 ・これまでの偲びのカンファレンスの議事録を活用し看取りについて振り返る。 ・コロナ禍での看取り方法についてのマニュアルの作成。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。